

茶寿の山「大野岳」



大野岳は山頂付近まで車で登れる手軽な山で、**茶寿階段**と名付けられた108段の階段をあがると、山頂の「**しろる展望台**」からは、九州南端を360度のパノラマで一望できます。

九州最大の湖「池田湖」、薩摩富士と称される「開聞岳」、芋畑・お茶畑が広がる雄大な南薩大地。さらに、本土最南端の佐多岬や、遠く屋久島を望むこともでき、まさに**絶景スポット**！季節ごとに変わる自然の風景を見に、何度も訪れたい場所です。

グリーンティーリズム



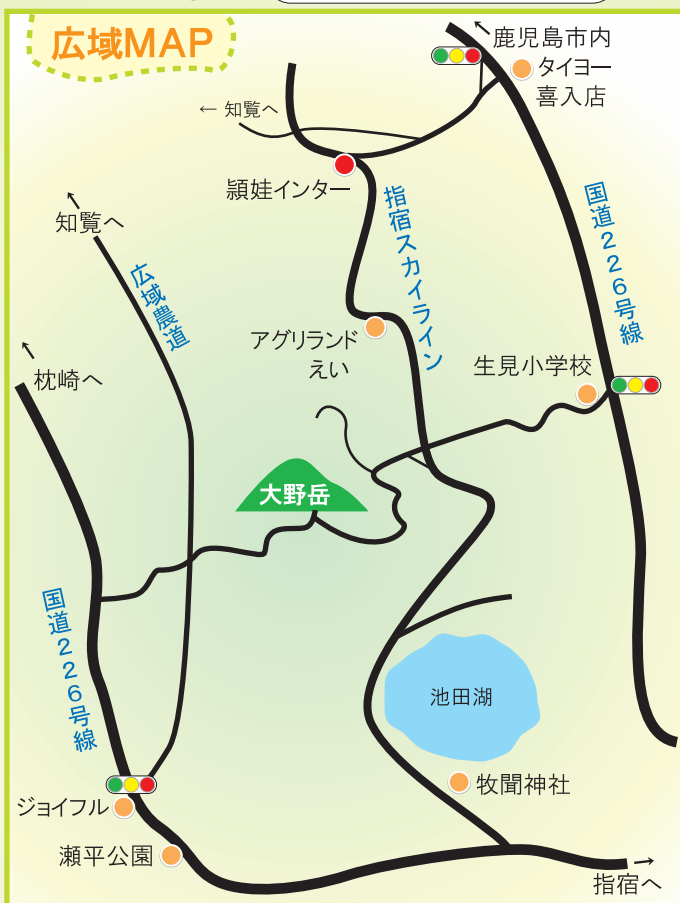
自然、文化、人々との交流を楽しむ「グリーン・ツーリズム」にお茶をプラスした「**グリーンティーリズム**」は、茶寿会が提案する新しい旅のスタイル。標高466mから眼下に広がるお茶畑を眺め、お茶畑を歩き、おいしいお茶を飲み、会話を楽しむ。**お茶のまち頼娃(えい)ならでは、ほっこり旅を、地元お茶農家ガイドが流暢なエイ語でご案内いたします。**

- 料 金：ひとり200円(お茶とお菓子付)※15名様以上
- お問合せ：茶寿会 TEL 090-3663-9986 瀬川まで

大野岳GO!GO!MAP



鹿児島市からの**のんびり**1時間
指宿から**ゆったり**30分
知覧から**まったり**30分



大野岳 GUIDE

108

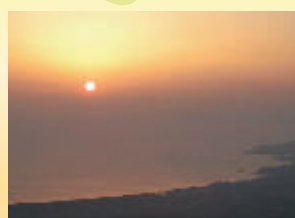
大野岳 ～茶寿の階段ものがたり～

茶寿とは

「茶」という漢字を分解して足すと10+10+88=108になることから、108歳のお祝いを茶寿と言います。喜寿や米寿など、節目の年齢に健康長寿を祝う日本の風習は、大切にしたい事のひとつです。



オールえい's 山頂での夕日



昭和を描いた人気映画「ALWAYS三丁目の夕日」をもじったキャッチコピーで、密やかな話題となっている「オールえい's 山頂での夕日」。

466mの山頂から、颯娃のまちなみや田畑を赤く染めながら沈んでいく様子は、言葉を失うほどの美しさ。春夏は山へ、秋冬は海へ沈みます。ノスタルジックな風景と心和む夕日をぜひ体感してください。

茶寿階段



108歳を祝う「茶寿」という言葉にちなみ設置された、山頂へ続く108段の階段です。階段途中には、二十歳・還暦・喜寿・米寿などの表示や、志学・不惑など論語のプレートも設置されています。それぞれの人生への思いを抱きつつ、健康・長寿を願いながらゆっくり上がってください。

段々茶畑展望台



この展望台からは大野岳山麓に広がる段々に連なった茶畑の光景を間近に望めます。山頂からとは一味違った景観を楽しみながら、お弁当を広げるのもおすすめです。東の小道は駐車場につながっています。

茶とかごしま

・茶いっぺ

「お茶を一杯どうぞ」という鹿児島のもてなしの言葉です。旅の途中にほっとひといき♪茶いっぺ飲んで行きやんせ。



・茶餅

器に味噌と鰹節を入れ、お茶を注いだ鹿児島の郷土食です。栄養満点！疲労回復にもおすすめ♪ぜひお試しあれ。



茶柱



茶寿階段を上りついた所に立つ「茶柱」。昔から「茶柱が立つと縁起がいい」と言われています。上部に大野岳を模した茶柱をなでて吉兆祈願を。

不屈の仁王像



300年以上前に建立された仁王像は、南九州市の指定文化財。廃仏毀釈の迫害に耐えて原形をとどめた「不屈の仁王像」は、自分の治したい、良くとしたいころを触るとご利益があるとされています。

参拝のしかた



大野嶽神社は、参拝の際に108円(茶寿の108歳)または、年齢の数だけのお賽銭をお供えすると、健康・長寿のご利益があるとされています。「年齢のサバを読まないで」という、ユニークな参拝方式が最近話題になっています。

大野嶽神社



創建年不詳。古くは大野嶽権現社と称され、1297年に権現堂槌鐘建立の記載が残っていることから、それ以前の建立と思われます。当神社で代々続く秋の例大祭は相撲大会も開催されるなど地域を代表する賑やかな行事です。また春にはお茶農家が一斉に介した新茶まつりも行われるなど、地域と繋がり深い神社です。